

幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業

成果報告会

- 1 岐阜県の実組
- 2 日常の保育・指導の工夫、改善
- 3 今後の展望



岐阜県教育委員会 義務教育課

令和7年2月10日（月）

1 岐阜県の実組

岐阜県の実組

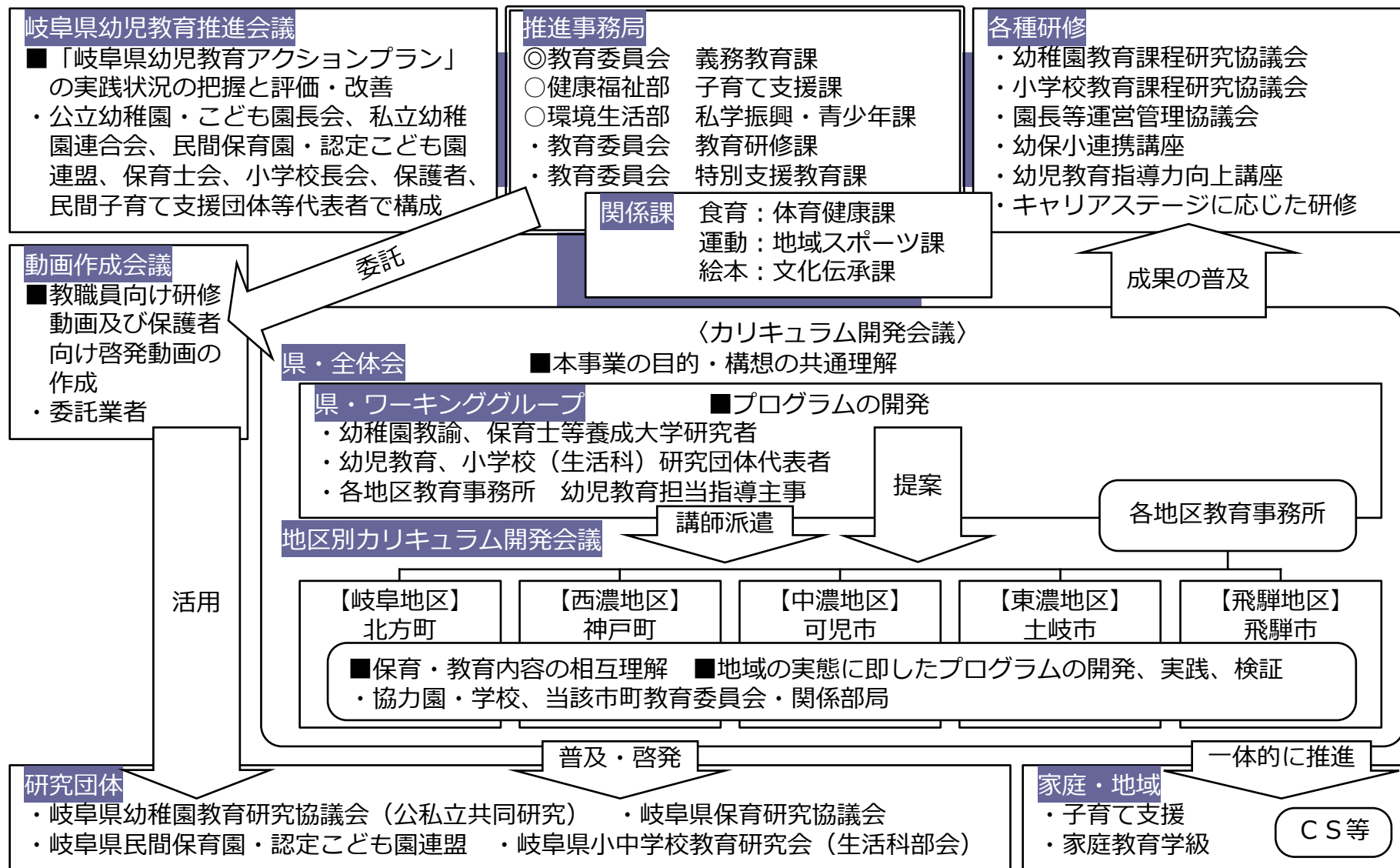
〈岐阜県調査研究課題〉

幼保小の連携・協働による「つなぐ・高める・支える」
架け橋プログラムの開発・実践

- (1) 組織体制・会議設置モデルの開発・実践
 - ・ 県・地区別カリキュラム開発会議の設置
- (2) 接続期カリキュラムの開発・実践
 - ・ 接続期カリキュラム開発サポートシートの作成
 - ・ 指定市町版接続期カリキュラムの開発
- (3) 保育・教育内容の相互理解を図る研修プログラムの開発・実践
 - ・ 幼保小合同研修の実施
 - ・ 教職員向け研修資料・動画「架け橋期のぎふっこの学びとくらし」の作成
- (4) 子供同士の園・学校交流を位置付けた指導計画の開発・実践
- (5) 認識と取組の社会的共有を目指す発信プログラムの開発・実践
 - ・ 保護者向け啓発資料・動画「架け橋期のぎふっこの学びとくらし」の作成

1 岐阜県の取組

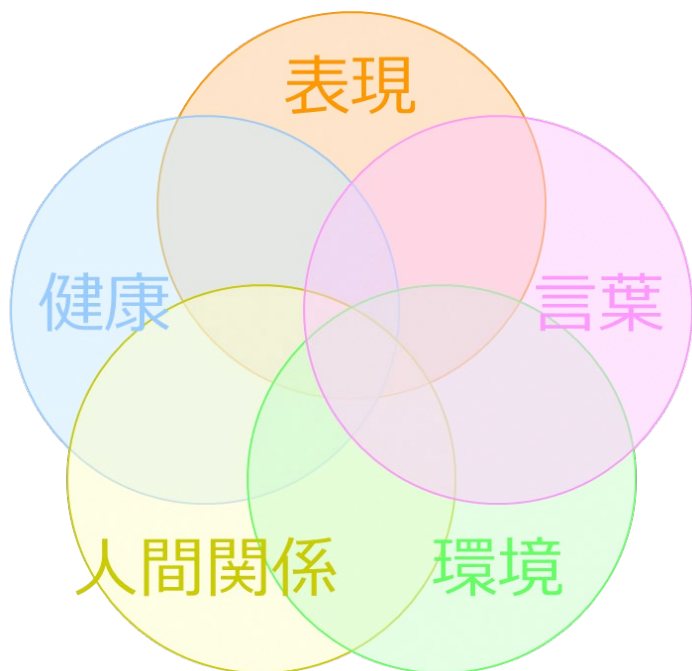
組織図



1 岐阜県の取組

接続期カリキュラム開発サポートシート

便宜上、領域等（5領域＋特別な支援）別にシートを作成したが、資質・能力の3つの柱、5領域、10の姿の関係性を図式化して明らかにすることで、遊びや生活を通した総合的な指導の中で一体的に育むことを示した。



接続期カリキュラム開発サポートシート		
健康 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。		
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現 学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、思考力、判断力、表現力など		
	5歳児	1年生
幼児・共に育みたい児童の画像	① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう子 ② 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする子 ③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する子	⑦ 目標や願いをもって伸び伸びと行動する子 ⑧ 運動遊びに親しみ、休み時間等に他の児童と一緒に楽しく過ごす子 ⑨ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、自他の体を大切にする子 ⑩ 生活の流れを理解し、見通しをもって行動する子
指導上の構成・関わり方等	○ 安定した情緒の下で、自分のやりたいことに向かって伸び伸びと取り組むことができるよう、時間・空間・仲間を意識した環境を構成し、一人一人の状況に応じて、一緒に活動したり声をかけたり見守ったりする。①② ○ 戸外の活動を楽しみ、十分に体を動かすことができるよう、アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)の運動遊び(体を使った遊び)や伝承遊び(押し競、縄跳、達磨さんが転んだ等、昔から親しまれてきた遊び)を紹介し実践する。①② ○ 基本的な生活行動(食事、清潔行動、整理整頓等)を身に付け、進んで取り組むことができるよう、生活の流れの中で必要性に気付いたり気持ちよさを感じたりできるように援助し、自立を促す。①③ ○ 安全に気を付けた遊びや行動ができるよう、過保護や過介入に留意しながら、危険やその回避方法についてその場で知らせたり、気付かせたりする。③ ○ 上記について情報共有し、家庭でも実行するよう保護者に促す。①②③	○ 一人一人の目標や願いを把握し、状況に応じて、声をかけたり周りの児童に働きかけたりする。⑦⑧ ○ 主体的に遊びを創り出すことができるよう、定期的に集団遊びの機会を設け、ACPを紹介したり誰もが楽しめる作戦を考えるよう促したりする。⑦⑨ ○ 基本的な生活行動が病気や怪我の予防につながることを、学級活動や給食、日常生活の中で機会を捉えて指導し、体を大切にする気持ちを育む。⑦⑩ ○ 時間割に慣れることができるよう、「次は」「いつまでに」を丁寧に確認し、板書や掲示で示す。⑦⑩ ○ 上記について情報共有し、家庭でも実行することで習慣化を図るよう保護者に促す。⑦⑧⑨⑩

1 岐阜県の取組

指定市町版接続期カリキュラム等

※ 文中における「子供」の表記は、各市町においては「子ども」と表記しています。

北方町	成果物	・ 「たくましい北方の子」を育てる15年間カリキュラムマップ ・ 子どもの「育ちと学び」を円滑に接続するためのカリキュラム
	ポイント	体験と表現が往還する活動のイメージが共有できるよう、事例の「学びや遊びのプロセス」を記載した。
神戸町	成果物	・ 接続期カリキュラム～「運動遊び」を軸として～
	ポイント	変化させながら続く幼児期の遊びの特性を矢印で記載した。
可児市	成果物	・ 可児市「笑顔の“もと”」接続期カリキュラム
	ポイント	各園と小学校の特色を生かし、それぞれが「協同性」を育むことを意識して取り組む活動を記載した。
土岐市	成果物	・ 子どもの育ちと学びをつなぐ「接続期マップ」 ・ ～「言葉による伝え合い」を重点として～ ・ 子どもの育ちと学びをつなぐ「連携のあしあと」 ・ 開発の手順と解説
	ポイント	授業や日常を通して目指す「第1学年修了時までには育ってほしい姿」を記載し、指導の方向性を明らかにした。
飛騨市	成果物	・ 飛騨市版アプローチ・スタートカリキュラム
	ポイント	活動を通して育む「仲間と関わる力」の系統性を記載し、5歳児後期と小学校入学期を一つの段階として位置付けた。

1 岐阜県の取組

幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業
教職員向け研修資料（冊子）

架け橋期のぎふっこの学びとくらし



架け橋期のぎふっこの学びとくらし
（PDFファイル）

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/399472.pdf>



岐阜県教育委員会HP →
幼保小の架け橋プログラム

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/edu/366556.html>

1 岐阜県の取組

教職員向け研修動画



〈第1章〉はじめに

〈第2章〉接続期カリキュラム開発サポートシートの紹介と解説

シートの 構成	健康	人間関係	環境	言葉	表現	特別な 支援
------------	----	------	----	----	----	-----------

〈第3章〉接続期カリキュラム等の紹介と説明

北方町	神戸町	可児市	土岐市	飛騨市
-----	-----	-----	-----	-----

〈第4章〉実践の具体の紹介と説明

北方町 園	神戸町 園	可児市 園	土岐市 園	飛騨市 園
北方町 学校	神戸町 学校	可児市 学校	土岐市 学校	飛騨市 学校

※ 5分／1チャプタ

1 岐阜県の取組

幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業 保護者向け啓発資料（リーフレット）

架け橋期のぎふっこの学びとくらし



1 岐阜県の取組

保護者向け啓発動画

〈第1章〉はじめに

〈第2章〉実践の具体の紹介と説明

(1) 遊び ① 神戸町	(3) スタートカリキュラム ① 可児市 ② 飛騨市
(2) アプローチカリキュラム ① 北方町 ② 飛騨市	(4) 子供同士の園・学校交流 ① 北方町 ② 神戸町 ③ 土岐市
(5) 幼保小合同研修・会議 ① 可児市	② 土岐市

※ 5分／1チャプタ

2 日常の保育・指導の工夫、改善

北方町の実践

〈令和5年度〉

義務教育学校では、園で付けた力を発揮しながら学校生活に適應できるよう、教師が「園ではどのようにやっていたの？」と尋ねたり、スモールステップを設定したりした。やるべきことが終わった後も自分で考えて行動できる子が増えてきた。

〈令和6年度〉

保育所では、「接続期カリキュラム」の開発を受けて「アプローチカリキュラム」を見直し、子供たちが、自分達で話し合って決める活動を、段階的に位置付けるようにした。秋のお店屋さんでは、子供たちが、「何が必要か」や「役割分担をどうするか」等、これまでの経験を生かしてアイディアを出し合い、実現に向けて、粘り強く取り組んだ。

2 日常の保育・指導の工夫、改善

神戸町の実践

〈令和5年度〉

小学校では、縦割り班遊びの内容やルールは、子供たち同士で、話し合って決めるようにした。学年や個人の得手不得手を配慮したり、より楽しくなるように工夫したりする中で、上級生に対しても安心して相談できる子が増えてきた。

〈令和6年度〉

幼稚園では、小学校入学後の様子を見る機会が増えたことで、幼児期に必要な経験として「子供同士でやり遂げる」ことへの認識が高まった。保育者は、個人の困っている状況をクラスの仲間にも伝え、共感したり、一緒に解決策を考えたりする場面を、積極的につくるようにした。子供たち自身の力で、遊びを発展させたり、製作を継続したりする姿が増え、たくましさを感じられるようになってきた。

2 日常の保育・指導の工夫、改善

可児市の実践

〈令和5年度〉

幼稚園では、個々にじっくり味わってきた遊びが、友達との製作遊びへと発展し、たくさんの作品やゲームができてくると、みんなでお店屋さんを開きたいという声が上がったことから、遊び込むことが「協同性」を育んでいくことを改めて確認できた。

〈令和6年度〉

小学校では、「接続期カリキュラム」の開発を受けて「スタートカリキュラム」を見直した。子供たちの生活リズムや集中する時間、意欲の高まりを大切に、「弾力的な時間割」を設定し、「生活科を中心とした学習」や「各教科等の学習」の位置付けを吟味した。どの時間においても、子供たちが生き生きと主体的に学ぶ姿が見られた。

2 日常の保育・指導の工夫、改善

土岐市の実践

〈令和5年度〉

幼稚園では、「先生」「ペア」「グループ」「全体」と伝え合いの環境を意識するようにした。進んで自分の考えを伝えるだけでなく、友達の考えを聞いて、共感したり提案したりできる子が増えてきた。

〈令和6年度〉

小学校区では、連携の計画に基づいて、年度当初から継続的に、子供同士の園・学校交流を進めてきた。幼保小合同会議で、交流のもち方、目的、5歳児と1年生の意識を共有し、交流までの見通しを明らかにしたことで、各教科等のねらいや保育のねらいに即して、子供たちに効果的に力を付けることができている。

2 日常の保育・指導の工夫、改善

飛騨市の実践

〈令和5年度〉

保育所では、鉄棒で技に失敗したり、竹馬で転んだりしても、再挑戦する子が増えたと気付き、できる・できないだけではない、子供たちの内に育まれている力に着目することの大切さを改めて認識できた。

〈令和6年度〉

小学校では、「スタートカリキュラム」以降も、幼児期から続く学びが段階的に高まっていくよう、指導計画を整理したり学習環境を見直したりした。「材料コーナー」「ヒントコーナー」「お試しコーナー」等のスペースを設置した授業では、子供たちが、個々のペースでじっくり考えたり試したり交流したりすることができた。

3 今後の展望

今後の展望

(1) ビジョンの明確化

(2) 実態の推移の把握

- ・ 接続期カリキュラム・スタートカリキュラム等を編成し、架け橋期の教育課程を工夫している小学校・義務教育学校の割合
- ・ 幼保小合同研修を実施し、保育・教育内容の相互理解を図っている小学校・義務教育学校の割合
- ・ 子供同士の園・学校交流を実施し、自信や安心感、豊かな人間関係を育てている小学校・義務教育学校の割合

(3) 指導・助言の実施

- ・ 各種研修の充実
- ・ 研究団体との連携

3 今後の展望

第4次岐阜県教育振興基本計画

R6.3

施策Ⅰ－6 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実

〈取組の方向性〉

- 「岐阜県幼児教育アクションプラン」の基本方針である「『つなぐ・高める・支える』幼児教育の推進」に向けて、「幼児教育推進会議」において施策の検証と見直しを続けます。
- 幼児教育に携わる関係各課からなる「岐阜県幼児教育チーム」により、施策を共有し、施設類型、公私立を問わず一貫した指導、支援を行います。
- 「**幼保小の架け橋プログラム**」を推進し、「**接続期カリキュラム**」や「**保育・教育内容の相互理解を図る研修プログラム**」、「**組織体制・会議設置モデル**」等の成果の共有を図ります。

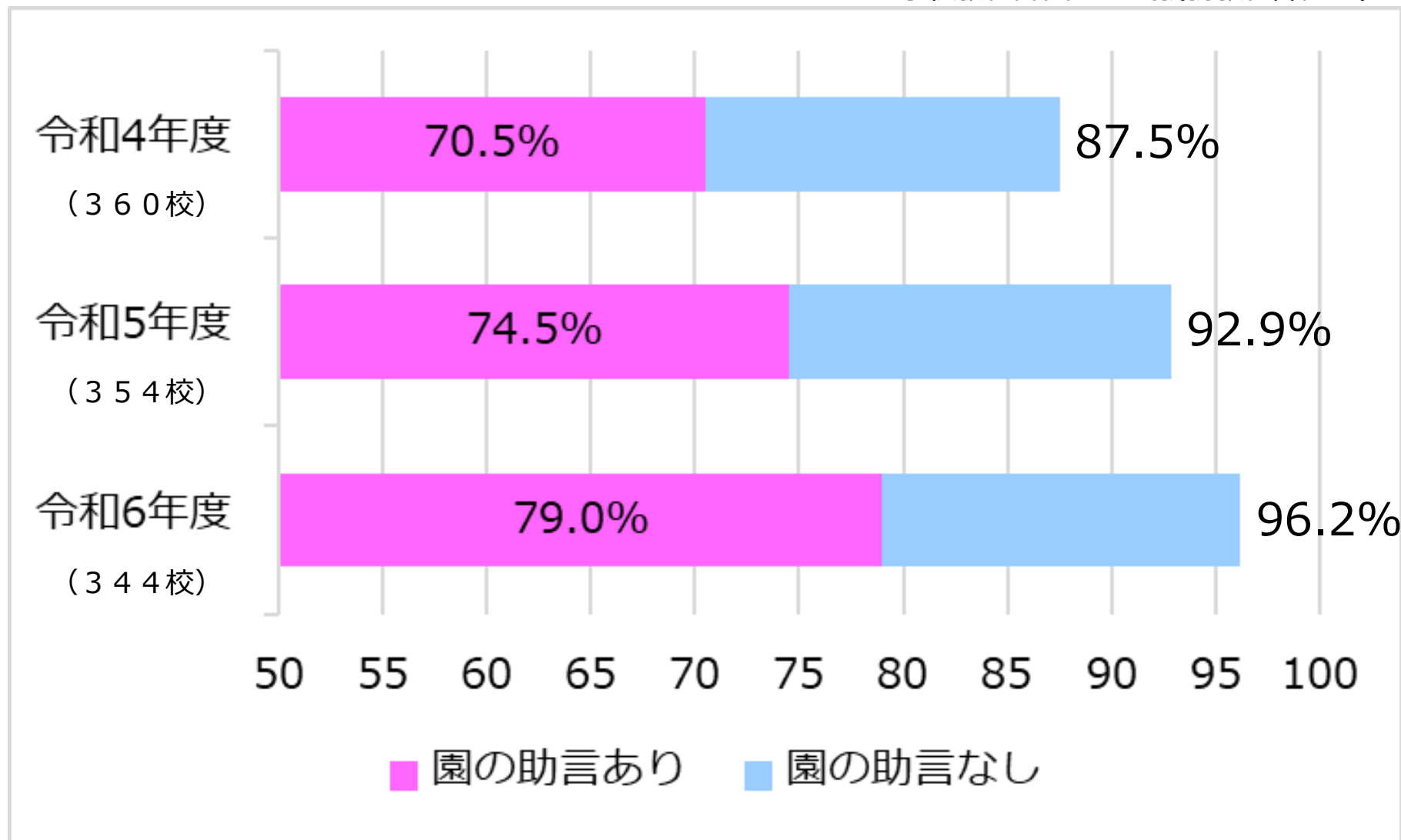
〈施策実施指標〉

番	施策	指標	現況値	目標値
6	人格形成の基礎を培う幼児教育の充実	幼児教育施設の教職員、保育士等との合同研修を実施した小学校の割合	R5年度 60.1%	R10年度 90%

3 今後の展望

架け橋期の教育課程を工夫している小学校

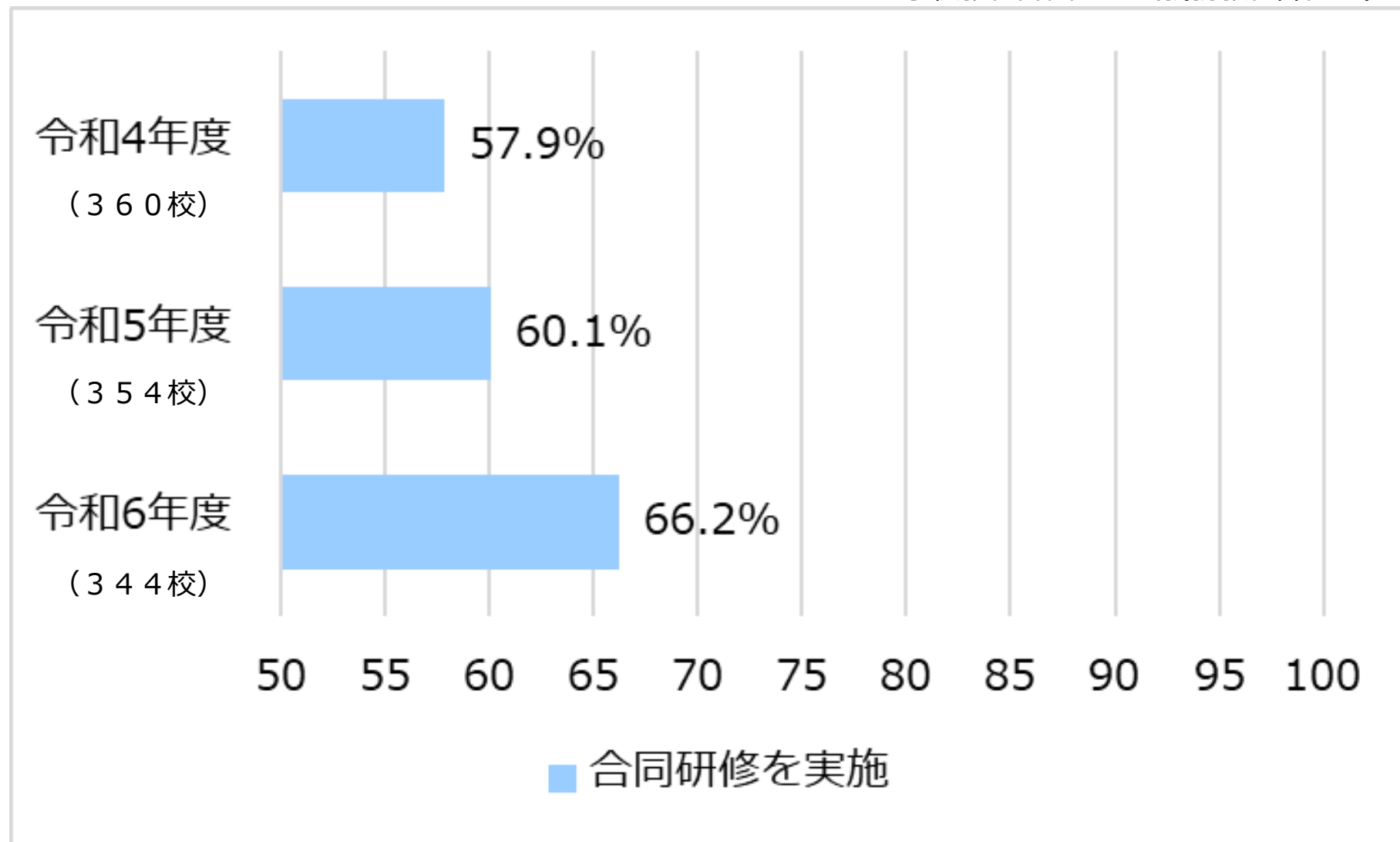
学校教育計画より（義務教育課調べ）



3 今後の展望

幼保小合同研修を実施している小学校

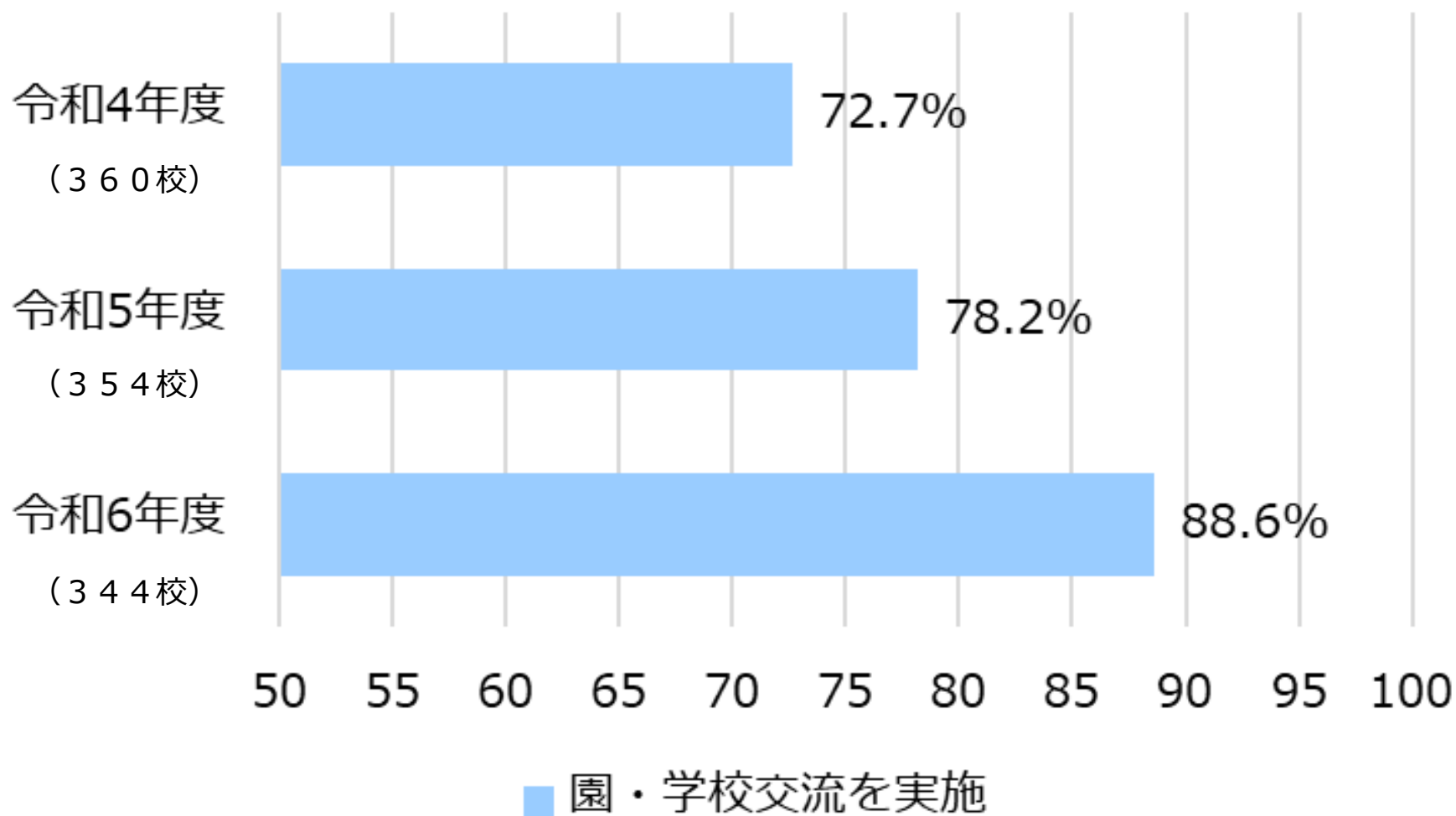
学校教育計画より（義務教育課調べ）



3 今後の展望

子供同士の園・学校交流を実施している小学校

学校教育計画より（義務教育課調べ）



3 今後の展望

指導・助言の実施

〈各種研修の充実〉

- ・ 幼稚園教育課程研究協議会、小学校教育課程研究協議会、園長等運営管理協議会、幼保小連携講座、幼児教育指導力向上講座、キャリアステージに応じた研修において、「架け橋期の重要性と指導の見通し」を扱い、教職員向け研修資料・動画、保護者向け啓発資料・動画を活用しながら、幼保小の架け橋プログラムの開発・実践の具体を描くことができるよう研修する。

〈研究団体との連携〉

- ・ 県幼稚園教育研究協議会、県保育研究協議会、県民間保育園・認定こども園連盟、岐阜県小中学校教育研究会生活科部会が主催する会議等において、義務教育課 幼児教育担当者が幼保小の架け橋プログラムについて研修を実施し、3年間の成果の普及・啓発に努める。
- ・ 特に、県内公立・私立幼稚園の共同研究団体である県幼稚園教育研究協議会に対しては、指定園として公立2園、私立2園を指定し、「岐阜県幼児教育アクションプラン」の具現に資する実践的な調査研究を、継続して支援する。

幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業

成果報告会

- 1 岐阜県の実組
- 2 日常の保育・指導の工夫、改善
- 3 今後の展望



岐阜県教育委員会 義務教育課

令和7年2月10日（月）